

広島への原爆投下直後に降った「黒い雨」をあびたのに、国の援護対象外の地域とされた84人が、被爆者としての認定を国に求めた裁判で、広島高裁は、原告の訴えを認める判決を下しました。政府は上告を断念。原告・弁護団をはじめとした長年にわたる運動が政府を動かしました。政府は高裁判決を全面的に受け入れ、判決に沿って、すべての被爆者救済にただちにとりくむべきです。

国が上告断念

「黒い雨」被爆者の 全員救済を

エンジェルプラン



「全面勝訴」の旗に、大きな拍手と歓声を上げる原告や支援者のみなさん=7月14日、広島市

**野党4党が
国に要望**

**「被爆者とみとめ
手帳の交付を」**



厚労省の担当者に要望書を手渡す、(左から)日本共産党の本村伸子衆院議員、井上哲士参院議員、笠井亮衆院議員、立憲民主党の長妻昭衆院議員、森本真治参院議員、社民党の福島瑞穂党首=7月21日、厚労省

赤旗写真ニュース | 2021年8月1週 | 1558号

毎月2回発行(8月は1週と4週) 1部25円

発行所・日本共産党中央委員会 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 電話 03(3403)6111

しんぶん赤旗をご購読ください
日刊・月3,497円 日曜版・月930円

電子版(日刊)
もあります



日本共産党